

J Aバンク山梨における地域密着型金融の取組状況（平成 23 年度）

J Aバンク山梨（山梨県内 J Aと山梨県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク山梨中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 23 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク山梨の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク山梨は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク山梨は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 24 年 3 月末時点の J Aバンク山梨の農業関係資金残高^{（注 1）}は 3,401 百万円（うち農業経営向け貸付金 2,547 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注 2）}残高は 1,631 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク山梨が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	24 年 3 月末現在
農業	2,547
穀作	115
野菜・園芸	238
果樹・樹園農業	641
工芸作物	
養豚・肉牛・酪農	114
養鶏・鶏卵	2

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

養蚕	
その他農業	1,434
農業関連団体等	853
合計	3,401

3 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	24年3月末現在
プロパー資金	1,280
農業制度資金	2,120
農業近代化資金	976
その他制度資金	1144
合計	3,401

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク山梨が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	24年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1,631
その他	
合計	1,631

(注)

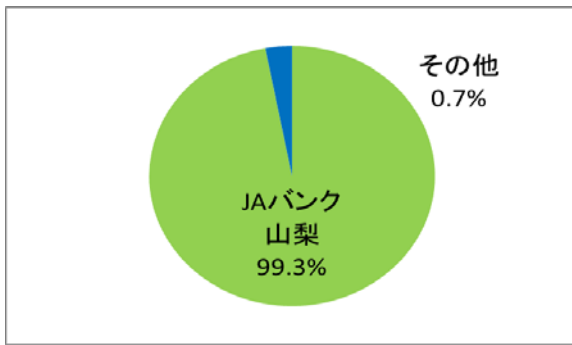
JAバンク山梨では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク山梨は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いは、以下のとおりとなっております。

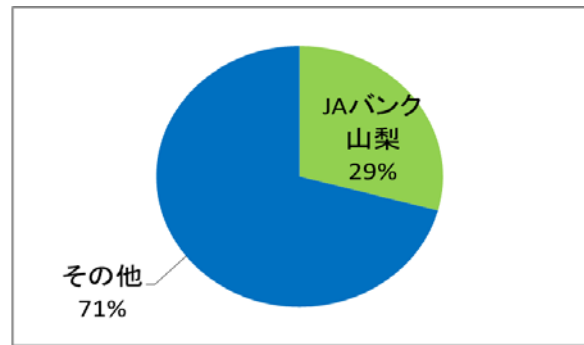
【山梨県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】

農業近代化資金 融資残高のシェア
(平成23年12月末時点)

日本政策金融公庫 農業資金取扱残高のシェア
(平成24年3月末時点)



出所：山梨県農政部



出所：日本政策金融公庫 農林水産事業「業務統計年報」

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク山梨では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内11JAの本店には18人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、JA信用部門はJA内の営農・経済事業部門等との連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク山梨は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク山梨では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万

	平成23年度 実行件数	平成23年度 実行金額	平成24年3月末 残高
就農支援資金（転貸）	9	30	92

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク山梨では、行政などの各関係機関と協議・連携を図り、農業者の経営再建に向けた支援に取り組んでいます。

【平成 23 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先 ①				—			
要注意先	うち 其他要注意先②	1	1	0	1	100.0%	
	うち要管理先③						
破綻懸念先 ④							
実質破綻先 ⑤		4	4	0	4	100.0%	
破綻先 ⑥							
小計(②～⑥の計)		5	5	0	5	100.0%	
合計		5	5	0	5	100.0%	

注)

・期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 22 年 3 月末時点でのものです。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献
JAバンク山梨では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク山梨は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 192 校へ、10,000 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県内JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAフルーツ山梨	夏休み子供工作教室及び職食農教育	管内の小学生を対象に野菜の育成や地産地消の料理教室などを取り入れた取組み。
JAふえふき	農業体験	地元特産のトウモロコシの皮むき体験や試食を行い、食の大切さを知り、地産地消を図る取組み。
	共選所見学と桃の試食会	出荷施設の見学と桃の試食により、出荷・箱詰めなど流通の仕組みを理解する取組み。
	学校給食への桃の提供と果物教室	都会の子供たちに桃を皮ごと試食してもらい、併せて果物の良さと果物作りの苦労の理解を図る取組み。

J A 梨北	農業体験学習支援	管内の小学校へ農作業栽培の為の堆肥を配布し、農業栽培を指導する取組み。
	家族料理教室	管内の園児・小学生とその家族で、地元で収穫された米や野菜を使って、地産地消の大切さを話し合う取組み。
	郷土食フェスタ	次世代を担う子供たちに伝統の郷土料理を伝えるとともに、安全安心な地元の農産物の消費拡大を目指して、地産地消を図る取組み。
J A 中巨摩 東部	農業体験	種蒔きから収穫までの農業体験を行うことで、農業への理解を深める取組み。
	料理教室	自分たちで収穫した物と地元の野菜を使って、食の大切さを学んでもらう取組み。
J A こま野	親子料理教室	管内小学生とその家族による地元の農産物を使った食農教育の取組み。
	お米作り体験	管内の小学生を対象にお米が出来るまでの過程を体験してもらい、食農教育に理解を深める取組み。

・上記には J Aバンク食農教育応援事業を活用した取組みが含まれます。

以 上